釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター

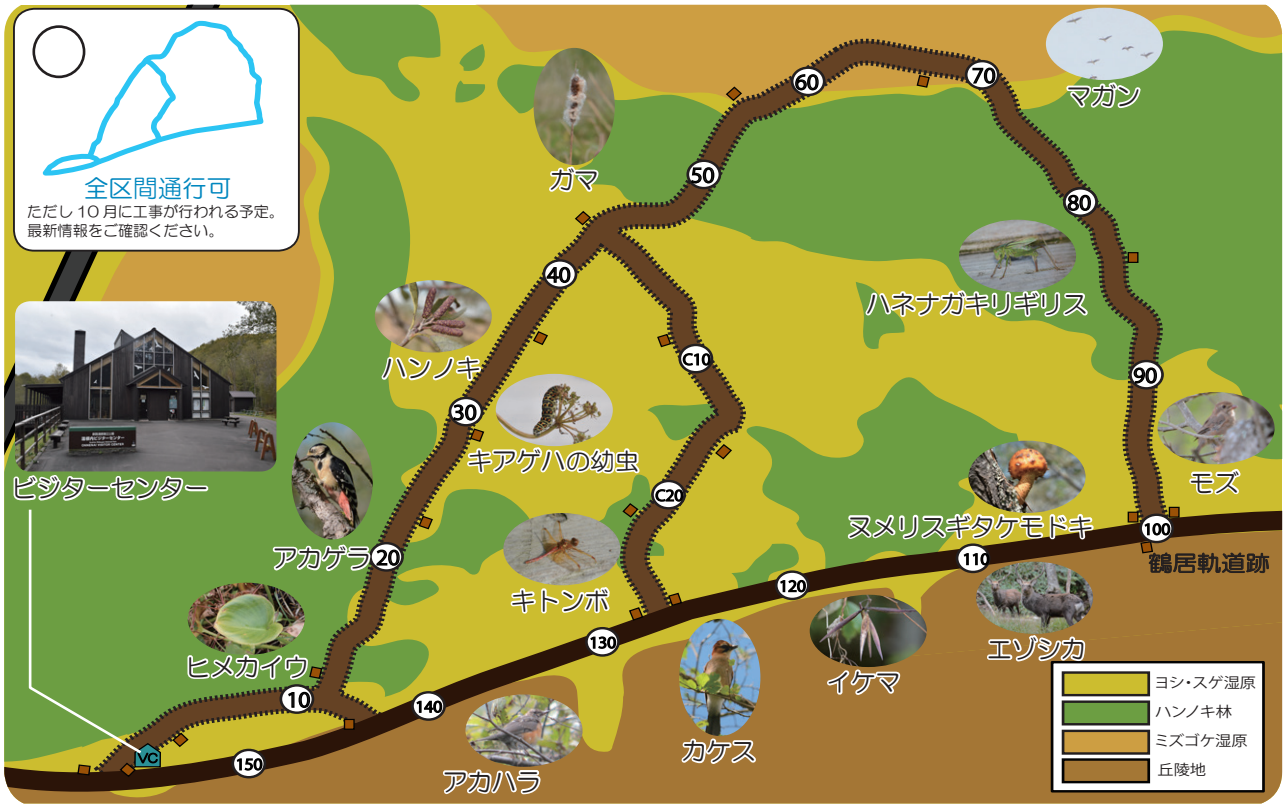
月刊温根内通信

2025年10月号　№349　　10月15日（水）発行

冬に向けて…

今年も紅葉の便りが届いてきていますが、皆さんのまわりはどうでしょうか。
見頃を迎えたイタヤカエデの紅葉を撮ろうとしていたら、ちょうどよいタイミングでハシブトガラが来てくれました。冬が迫り、混群を作り始めたカラ類は人間の気持ちをよそに餌探しに夢中です。
ヨシ原に現れたのは冬毛に変わりつつあるノビタキ。この日を境に見られなくなり、南へ旅立ったようです。

☆☆☆　温根内木道周辺で見られた自然（9/15～10/14）　☆☆☆



【ヒメカイウの葉】
サトイモ科　姫海芋
ハンノキ林下にハート形の葉がグラデーションで黄葉しています。エゾシカもよく食べています。

【イケマの実】
キョウチクトウ科
オクラのような実が熟して割れ、整然と並ぶ種子が見えています。風に乗って種子を散布します。

【エゾシカ】
シカ科　蝦夷鹿
繁殖期を迎えたオスどうしが睨み合っていました。車の運転には最も注意したい時期です。

【ヌメリスギタケモドキ】
モエギタケ科　滑杉茸擬
広葉樹の幹によく目立って出てくるキノコ。傘は大きいもので10cmを超えるものも。

【キトンボ】　トンボ科
シーズンの最終版に飛ぶトンボの仲間。翅の付け根がうっすらと黄色く、秋を感じさせるトンボですが、今年は数が少ない印象でした。

【ハネナガキリギリス】
キリギリス科
木道が新しくなり、メスの産卵する姿はめっきり減りました。それでも古い木道では今も見られます。

○表紙の写真 上：ツリフネソウの実　下：ツリフネソウの実の中身

☆☆☆　温根内木道周辺で見られた野鳥（9/15～10/14）　☆☆☆

釧路湿原は今、渡りの時期を迎えています。鳥たちの囀りで賑わう季節は過ぎましたが、いつもとは違う鳴き声が聞こえてきます。上空から声が聞こえてきたら、それは越冬地へ渡っていくヒシクイやオオハクチョウなどの旅鳥の声かもしれません。丘陵地には「ジャー」という声とともにカケスの姿が戻ってきました。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出ししております。お気軽にお声がけください。

【アカハラ】　夏鳥
ツグミ科　赤腹
数日だけ見られ、群れで移動していたと思われます。その名の通り、赤いお腹がチラッと見えました。

【マガン】　旅鳥
カモ科　真雁
越冬地へ移動する旅鳥です。よく似たヒシクイよりも甲高い声で鳴きます。国の天然記念物。

【カケス】　漂鳥
カラス科　掛巣
昨シーズンは全く見かけなかった本種。鶴居軌道沿いで地面に下り、カエルを食べたりしていました。

○温根内木道周辺で観察された花・鳥（9/15～10/14）

花（和名は五十音順）* 外来種							
1	アキノウナギツカミ	24	ツリフネソウ	4	ヒドリガモ	28	ハシブトガラ
2	アメリカセンダングサ *	25	トウヌマゼリ	5	マガモ	29	シジュウカラ
3	イヌタデ	26	ドクゼリ	6	オナガガモ	30	ヒバリ
4	イヌトウバナ	27	ナガバノウナギツカミ	7	コガモ	31	ヒヨドリ
5	ウメバチソウ	28	ナガボノシロワレモコウ	8	スズガモ（10/11 温根内初確認）	32	ウグイス
6	エゾイヌゴマ	29	ナギナタコウジュ	9	アマツバメ	33	エナガ
7	エゾイラクサ	30	ハナタデ	10	アオバト	34	コヨシキリ
8	エゾオオヤマハコベ	31	ハンゴンソウ	11	クイナ	35	ゴジュウカラ
9	エゾゴマナ	32	ヒヨドリバナ	12	タンチョウ	36	キバシリ
10	エゾシロネ	33	ヘラバヒメジョオン *	13	タシギ	37	アカハラ
11	エゾトリカブト	34	ホソバイラクサ	14	アオサギ	38	ツグミ
12	エゾヤマアザミ	35	ミソガワソウ	15	ハイイロチュウヒ	39	キビタキ
13	エゾリンドウ	36	ミゾソバ	16	トビ	40	ノビタキ
14	オオバセンキュウ	37	ミツバベンケイソウ	17	オジロワシ	41	ビンズイ
15	オオヨモギ	38	ヤナギタウコギ	18	ノスリ	42	タヒバリ
16	カタバミ	39	ヤナギタンポポ	19	コゲラ	43	イカル
17	コガネギク	40	ヤブマメ	20	アカゲラ	44	ベニマシコ
18	サワギキョウ	41	ヤマハギ	21	オオアカゲラ	45	カワラヒワ
19	シオガマギク	42	ヤマハハコ	22	ヤマゲラ	46	マヒワ
20	シロツメクサ *	43	ヨシ	23	モズ	47	アオジ
21	セイヨウタンポポ *	鳥（和名は日本鳥類目録第８版の順）		24	カケス	48	オオジュリン
22	タカアザミ	1	ヒシクイ	25	ハシボソガラス		
23	チドリケマン	2	マガン	26	ハシブトガラス		
		3	オオハクチョウ	27	ヒガラ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆　自然ふれあい行事を開催しました　☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング２～ニホンザリガニ編～」10月５日 参加者：12名 講師：照井滋晴（NPO法人PEG）
日本の固有種で絶滅危惧種にも指定されている、ニホンザリガニを探す恒例のイベントを行いました。まず講師の照

井氏から時折クイズを交えながらのレクチャーを受け、ニホンザリガニの生態や他のザリガニの仲間との見分け方について教わりました。その後、参加者全員で鶴居軌道跡へと繰り出し、遊歩道沿いの水辺を網ですくい上げたり、手で落ち葉を裏返したりして、ザリガニを大捜索しました。まず網にかかったのは小型の魚類のエゾトミヨやエゾホトケドジョウ。これらの種も実は絶滅危惧種に指定されており、ニホンザリガニと同程度に希少性の高い種だということに参加者も驚いていました。その他にトンボの幼虫のヤゴ、ゲンゴロウの仲間といった水生昆虫も見られました。そして、あるスポットでついにザリガニを発見。その後も水の中から次々と見つかり、どれもその特徴からニホンザリガニということを確認しました。昨年の８尾を上回る、過去最高の９尾発見という結果に参加者も大満足。1cm 程度のものから 4cm の個体まで見つかり、この温根内の環境で無事繁殖していることもわかりました。数の少ないニホンザリガニの貴重さも学んだ１日でした。

☆☆☆☆　イベントのご案内（11 月）事前の申し込みが必要です　☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター　⇒お申し込み☎ 0154-65-2323

♪初冬の植物を見に行こう

〔日時〕11 月９日（日）10：00 ～ 12：00
〔定員〕15 名（小学生は保護者同伴）〔参加費〕無料　〔場所〕温根内ビジターセンター
これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11 月 23 日（日）13：00 ～ 15：00
〔定員〕15 名（小学生は保護者同伴）〔参加費〕￥500（材料費）
〔場所〕温根内ビジターセンター
もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルリースを作成しましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪ムックリを作ってみよう

〔日時〕11 月 15 日（土）13:00 ～ 15:00　〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕550 円（材料費）　〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11 月 29 日（土）13:00 ～ 15:00　〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕500 円（材料費）　〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～開館時間が変わります～

11 月１日より当センターの開館時間が９時～ 16 時までとなります。24 時間開放していたトイレも 16 時の閉館をもってご使用できなくなりますのでご注意ください。
日の入り時刻も早まってきていますので、時間に余裕をもって散策をお楽しみください。

月刊　温根内通信　№ 349
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒 085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間：9:00 ～ 17:00（11 月～３月は 16:00 まで）
休館日：毎週火曜日（12/29 ～ 1/3 は休館）　入館無料